

【問題】

逸脱行動について述べた上で、
H. S. ベッカーのラベリング理論について説明せよ。

【答案例】

逸脱行動とは、
犯罪や非行をはじめとする、
既存の価値体系や社会規範から逸脱する行動をいう。

↓

この逸脱行動については、
19世紀にロンブローゾが「生来犯罪人説」を唱え、
犯罪者は生まれつき人格的な歪みがあり、
これが遺伝することにより、
新たな犯罪者が生み出されるという主張を展開した。

↓しかし

20世紀になると、
このような逸脱行動の先天性に疑問が呈されるようになり、
逸脱行動の要因を社会の側に求める理論が登場した。

↓そうした中、

H. S. ベッカーは
著書『アウトサイダー』において、
逸脱者が生み出される要因として、
ラベリング理論を提唱した。

↓彼によると、